

Pico 秒レーザー（トーニング・フラクショナル）による治療を受けられる方へ 説明・同意書

当院で使用しているキャンデラ社製 PicoWay は、532nm+1064nm のフラクショナル機能を有するピコ秒レーザーです。ピコ秒レーザーをフラクショナル（細かい点状）に照射することで、ダウンタイムが少なく、①ニキビ・ニキビ痕の改善 ②毛穴開大・小じわ・肌質の改善 ③全体的な色調の改善 等の効果が期待できます。

532nm のフラクショナルは、メラニンを部分的に破壊し、表皮内で空胞化を生じさせることで、表在性の色素斑や雀卵斑の改善が可能となっています。

1064nm のフラクショナルは、532nm の波長よりも皮膚の深い層に作用し、全体的な肌質改善や毛穴縮小が期待出来ます。皮膚表面にはダメージを与えずに真皮内に空胞化を形成することにより、真皮のリモデリング効果を起こすことで肌質を改善します。

下記の注意点や予想される合併症・注意事項についてご確認した上で、治療を受ける事に同意していただける場合は、下記に署名をお願い致します。

治療が受けられない方

下記の病気や症状がある方、下記薬剤の使用中的の方は治療を受けられません。

- ・ペースメーカーや植え込み式除細動器を使用中、重篤な心疾患に罹患
- ・糖尿病などの内分泌疾患に罹患しており、創傷治癒に障害がある
- ・免疫抑制を引き起こす疾患、免疫抑制剤使用中
- ・出血性疾患に罹患、抗凝固薬を内服中
- ・妊娠中、またその可能性がある
- ・ケロイド体質
- ・発熱している・全身状態が芳しくない
- ・光過敏性発作・光線過敏症に関連した疾患に罹患・既往
- ・光過敏症を誘発する薬剤・外用薬・サプリメントを使用中

※妊娠・授乳中の方は安全性が確立されていません。医師にご相談ください。

治療を行えない部位

- ・シリコンや金属プレート等の人工物を埋め込んでいる
- ・感染性の皮膚疾患又は、切開創・開放創・炎症・化膿がある
- ・悪性腫瘍直上・単純ヘルペス 1 型、2 型の活動病変上
- ・2 週間以内の強い日焼け部位
- ・刺青・アートメイク上
- ・肝斑

下記の治療との併用待機時間

- ・ボトックス・ヒアルロン酸・コラーゲン・脂肪等のフィラー注入部位 : 2 週間
- ・ピーリング、レチノイン、トレチノイン : 2 週間
- ・レーザーリサーフェイシング、酸度の強いケミカルピーリング施術部位 : 3 ヶ月
(創傷治癒遅延がある場合は 6 か月以上)
- ・フェイスリフト、眼瞼手術、その他の治療部位の外科的手術 : 3 ヶ月
(創傷治癒遅延がある場合は 6 か月以上)

副作用

- ・疼痛
- ・発赤・紫斑
- ・浮腫/腫脹
- ・熱傷
- ・痂皮形成
- ・癬痕
- ・水疱
- ・一過性の炎症性色素沈着
- ・色素脱失
- ・軽度の癬痕形成

推奨治療間隔

- ・4~6 週間おきに 1 回を推奨しております (治療回数は肌質・症状により異なります)

治療経過と自己ケア・注意事項について

- ・痛みは、軽度ですが部位によっては痛みが増強することがあります。（必要であれば、麻酔等痛みを軽減する処置を行います）
- ・照射直後は照射部位全体に日焼けしたような発赤や腫脹が出ることもありますが、照射後数日でおさまります。
- ・照射直後から熱感が数時間続くことがあります。
反応によってはクリーム又は軟膏を処方しますので、医師の指示に従ってください。
- ・照射後は保湿を十分にしてください。
- ・無理に顔を強く擦ったりしないでください。
- ・治療直後は入浴やマッサージ、多量の飲酒は避けてください。
- ・保湿剤や日焼け止め（SPF30以上）を使用してスキンケアをおこなってください。
- ・治療中、または治療後6か月間は強い日焼けを避けるようにしてください。
- ・赤みが引かず、痒みや熱傷等の症状を呈した時は来院してください。
- ・照射後に点状出血・水疱・痂皮が形成されることがあります。その際は必要な処置を行いますので、医師の指示に従ってください。
- ・稀に、色素沈着が生じることがありますが、時間経過とともに減退していきます。

年 月 日 説明医師 印

私は、上記内容の説明を医師から受け、施術が行われることに同意します。
なお、この施術中に、緊急処置が必要となった場合には、その処置を受けることについても同意します。

年 月 日

患者氏名 _____ 印
親族または代理者氏名 _____ 印（続柄 _____）

医療法人明和会 藍住 たまき青空クリニック

Pico 秒レーザー（トーニング・フラクショナル）による治療を受けられた方へ

治療終了直後

クリニックでクーリング、軟膏塗布後は必要に応じて乳液を使用してください。

入浴時

施術当日は熱いシャワーを浴びたり湯船に浸かったりするのはお控え下さい。ぬるい温度でのシャワー浴は大丈夫です。

レーザーを照射した部位を洗浄する際は泡立てた石鹸を使用し、手で優しく洗って下さい。アカスリやタオルを使用したり、強くこすったりする行為はお控え下さい。

入浴後

レーザーを照射した部位を拭く際はタオルでこすらず、押し当てるように拭いて下さい。

タオルで拭いた後は化粧水・乳液での保湿をしてください。

翌日以降

翌日赤みが引いている場合は化粧をしても大丈夫です。

治療後1ヶ月が経過するまでは紫外線予防のため、SPF30以上のサンスクリーンを使用してください。

施術翌日からは熱いシャワーを浴びたり湯船に浸かったりしても大丈夫です。1週間ほどは洗浄の際、施術当日同様に優しく洗って下さい。

1～2日は激しい運動は控えて下さい。10日間は球技等のスポーツは控えて下さい。

	当日夜	翌朝～1週間後	1ヶ月後まで
処置		赤みが残っている場合はマイザー軟膏を朝晩に塗布してください。 赤みが引いていれば化粧をしても大丈夫ですが、必ずSPF30以上のサンスクリーンを使用してください。 4日以上経過しても赤みが持続する場合はご相談下さい。	
入浴時	湯船や熱いシャワーは禁止。 泡立てた石鹸で優しく洗う。	湯船や熱いシャワーともにOK。 泡立てた石鹸で優しく洗う。	普段通りで大丈夫です。
入浴後	マイザー軟膏を塗布してください。	タオルでこすらない。 化粧水・乳液で保湿する。	普段通りで大丈夫です。
その他		1～2日は激しい運動は控えて下さい。	10日間、球技等は控えて下さい。